

## はじめに

はじめまして。ももえと申します。

50歳になった主婦です。夫と娘と息子と4人で暮らしています。

2023年4月、息子が高校へ入学しました。娘は高校3年生となり、18歳の誕生日も迎えて成人となりました。子どもたち2人が成長するとともに、私の子育てでもあと数年、最終段階に近づいているように感じております。

娘が生まれ、私が母親となって18年間の子育てを振り返ると、それはいろいろなことがあります。

喜び、感動、悲しみ、怒り、ショックだったこと、つらかったこと、楽しかったこと、嬉しかったこと。

何しろ初めての親業、日々手探り、試行錯誤でした。未熟がゆえに至らないことも多々ありました。

そのなかでも、特に私たち家族にとって思いがけなかったまさかの出来事は、息子が小学2年生の夏休み明けから小学校に行きたがらなくなり、不登校になったことです。

その頃の私は、寝ても覚めてもそのことが頭から離れず、とても苦しかったです。私以上に苦しかったのは息子本人でしょう。家族だけではもうどうすればよいかわからず、途方に暮れ、暗いトンネルの中に迷い込んでしまったかのようなでした。

ですが、この出来事があつたおかげで、今の子どもたち、私たち親の姿があります。私や夫はありがたい機会に恵まれ、自分たちのこれまでしてきた子育てを見直しました。親のあり方を学び、時間をかけて親として望む姿へ変わることができました。

「親が変われば子が変わる」これは本当です！

このあと、夫婦のパートナーシップや私自身のあり方の問題などもあらわれました。それも今となつては息子が教えてくれたギフトだったと思います。

さて、子どもが一番好きなものはなんでしょう？

それは、お母さんの笑顔です。

子どもはお母さんを幸せにするために生まれてきたといっています。こんな嬉しくて、ありがたくて、幸せなことはありません。

子育てはずっとは続きません。有限なのです。

子育ては子どもの数だけ、親の数だけ、その組み合わせがあり、「みんな違ってみんないい」のです。

お母さんはありのままの我が子を認め、○をつけたいものです。おおらかに余裕を持って、子育てを楽しむものです。

お母さんが笑顔になると、子どもも笑顔になります。そんな母子の笑顔の循環を見て、お父さんもまた笑顔になります。私はそんな親子の笑顔が花咲く、温かい家庭に灯がともっている世界をイメージしています。

そして今、子育て真っ最中のお母さんを労い、応援したい気持ちでいっぱいです。それは昔の私にそうしてあげたかったから。私のこれまでの経験が、何かひとつでも子育てがもつとラクに楽しくなる参考になれば幸いです。